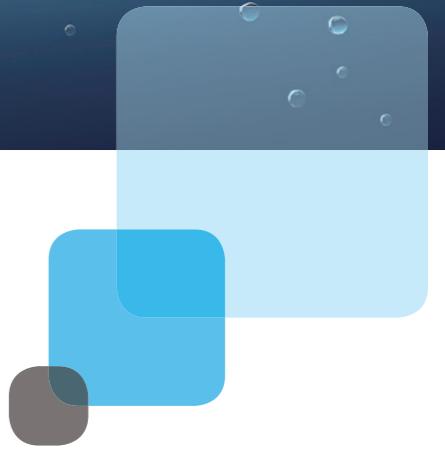


VETECHITIN
For Animal's Skin



管理医療機器 創傷被覆剤・保護材

ベテキチン®



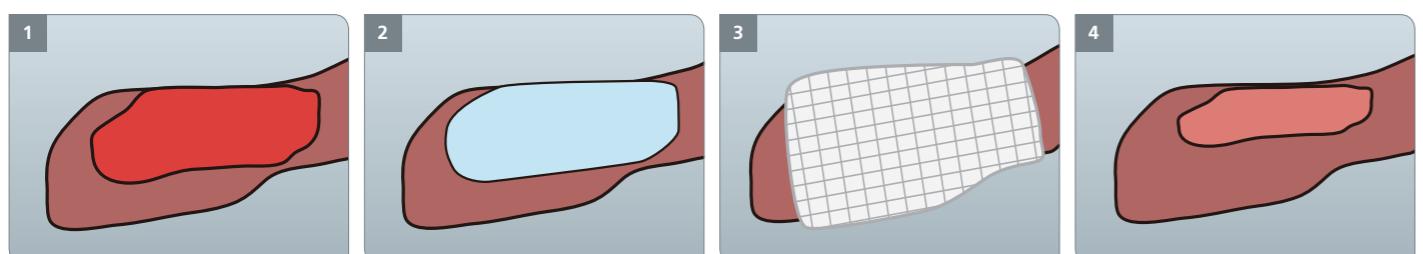
ベテキチン®の特長

- 動物用の創傷被覆・保護材です。
- フリース状構造が、適度な湿潤環境を保ちます。
- フリース状構造が、関節や凹凸の激しい傷にも密着します。
- 獣医師向け製品です。

ベテキチン®は、「キチン100%」の創傷被覆・保護材です。



使い方



創傷部を止血し、清浄化してください。その際、壊死組織があれば除去してください。

創部全体をベテキチンで覆い、しっかりと密着させてください。創部の形状に合わせてカットしてください。創部が乾燥している場合、生理食塩液でベテキチンを湿らせてください。

ガーゼをあててテーピング、または伸縮包帯で固定してください。感染がなければ、そのまま貼り続けてください*。治療期間中は、抗生素質を経口投与か注射により全身投与してください。

上皮化すると、ベテキチンは自然に剥がれます。固着して剥がれにくい場合は、生理食塩液で湿らせて、新生上皮を傷つけないようにゆっくりと剥がしてください。

*通常、ベテキチンは治癒まで交換することなく使用できます。但し感染が疑われた場合は速やかにベテキチンを除去し、創部の感染防止措置を行なってください。

症例報告

Case:1 交通外傷による皮膚・組織欠損 雄猫(2才/4.5kg/雑種)



受傷後1週目に受診。右後肢外側に隙間があり対側が見える状態で、肉芽が深くえぐれている。

ベテキチンで創部全体を覆い抗生素質(アンピシリン)を塗布し、伸縮包帯で固定する。

治療開始11日目には肉芽が全体に盛り上がりつつある。

治療開始後4週間目には上皮化はほぼ完了し発毛も認められる。

症例提供:本庄犬猫病院

Case:2 交通外傷による皮膚・組織欠損 雄猫(2才/4.5kg/雑種)



深い組織欠損(前肢)をベテキチンにて処置した。(治療開始4日目)

ベテキチン貼付中(治療開始11日目)。ベテキチンの下には良好な肉芽が形成されつつある。

治療開始後27日目には創もほぼ縮小している。

症例提供:本庄犬猫病院

Case:3 術後潰瘍による皮膚・組織欠損 雄犬(6才/17.0kg/雑種)



自動車との接触事故により、左後肢指骨露出に至る広範囲皮膚欠損。事故当日、左後肢第二指切除、皮膚縫合。6日間入院後、抗生素質投与と共に通院にて消毒、包帯交換。術後17日目、皮膚縫合部に壊死部を認める。

術後22日目。皮膚脱落部をベテキチンで覆い、抗生素質を溶かした生理食塩液をベテキチンに振りかけ浸軟させた後伸縮包帯で保護。

エリザベスカラーを使用し、傷口に触れないように、ベテキチン治療開始から1週間後の通院時、ベテキチン交換の際には良好な皮膚再生が認められた。以後1週間毎の通院時にベテキチンと抗生素質含有生理食塩液の処置を施した。ベテキチン治療開始から1ヶ月後には、周辺部に発毛が認められるまでに改善した。

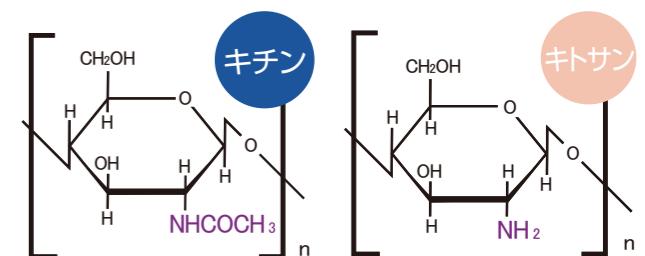
症例提供:金重動物病院

キチンとキトサンの相違

キチンはN-アセチルグルコサミンが $\beta-1,4$ 結合した多糖類で甲殻類、昆虫、きのこや菌類などの生物体の防護や補強の役目をしています。ベテキチンはこの甲殻類から抽出されたキチンをそのまま高度に精製して纖維化した医療機器です。

キチンは生体親和性、安全性などの面で生体材料として優れた性能を有していることが知られています。

一方キトサンはキチンを脱アセチル化処理をして得られるキチンの誘導体(ポリD-グルコサミン)です。アミノ基を含有し静菌性を示す反面、生体に対して刺激反応が強い点でキチンと異なります。



サイズ

サイズ	規格(cm)	入数
S	5×5	
M	10×10	5枚/箱